

幹事長挨拶（歓迎の言葉）

皆さんこんにちは。同志社グリークラブ第 119 期幹事長の佐野雅弥です。この度は同志社グリークラブへのご入団誠におめでとうございます。理事長の森島様をはじめOB会の皆様、技術顧問の伊東先生、顧問の岸先生のご臨席を賜り、フレッシュの皆さんを迎えこのように盛大に対面式を行うことができ、団員一同、大変うれしく思います。

皆さんは本日から同志社グリークラブの第 122 期団員となり、活動していきます。その上で大切にしてほしいことがあります。

それは、音楽への尽きることない情熱です。グリークラブのアイデンティティーは人々を感動させる音楽を届けることであり、私たちは「聴衆と一体となった音楽」を目指し日々活動しています。まだ皆さんは右も左もわからない状態だと思います。しかし、練習に参加して、技術顧問の伊東先生や、ボイストレーナーの先生方のご指導を受け、先輩の隣で歌っているうちに少しずつ技術が向上し、やがて他では考えられないような大きな舞台に立つことができます。皆さんにとって最初の大きな舞台は 8 月に行われる、関西学院グリークラブ、北海道大学合唱団との合同演奏会です。まずはその舞台を目指して音楽への情熱を注いでいってください！

そしてもう一つ大切にしてほしいことがあります。それは、グリーンメンとしての矜持を持つことです。グリークラブはこれまでの 119 年間の活動が評価され、大学からの信頼も厚い団体です。皆さんご存じの入学式での演奏をはじめ、卒業式やその他大学行事での演奏、学外からの依頼など多くの演奏機会があります。私たちには先輩たちが築き上げてきたグリークラブに対しての信頼を下の世代に繋いでいく使命があります。今日からグリーンメンとしての自覚と誇りを持ち、ともに励んでいきましょう。

（間）

グリークラブはコロナ禍の影響を強く受け、2年連続入部者が 10 名を下回り、練習時間も制限されるという厳しい状況の中で活動してきました。昨年は活動の規制が緩和され、30 名近い 1 回生を迎えることができ、コロナ禍以前の勢いを取り戻しつつあります。更には皆さんが 2 回生の時には同志社グリークラブの 120 周年、3 回生の時には同志社大学の 150 周年を迎えます。皆さんは伝統あるグリークラブの復活、そして我々と大学にとっての重要な節目を迎える中でこれ以上無い大役を担います。

4 年間のグリーライフは決して楽しいことばかりではないでしょう。苦しいこともつらいこともあるかと思います。しかし、それを乗り越えた後に浴びる万雷の拍手、そして達成感他何にも代えがたいものです。皆さんとその瞬間を噛み締められるのを、心待ちしております。

皆さんの入部を心から祝福し、歓迎のご挨拶といたします。